

2014年第12回8時間耐久レース競技規則書

2014年8月30日

-----競技規則-----

■はじめに

ルールやマナーを守れる事を前提とし、クイック浜名の定める競技規則書に基づいて開催されます。心身共に健康な方で、「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、「非難しない」「中傷しない」「怒らない」の3原則を守れる方ならどなたでも参加できます。

※尚、競技規則書は最後までお読み頂き熟知して下さい。

■参加について

1) 参加条件

- ① クイック浜名、スポーツカート阪奈、舞洲インフィニティサーキットの会員又はそれと同等とクイック浜名が認めた場合。
- ② クイック浜名においてレンタルカートを安全にドライブ出来る方。
- ③ 以前に当社においてレースに参加したことがない場合は会員限定ミニレースに2回以上参加したことのある方、もしくは、2014年8時間耐久レース練習会に参加したことのある方、

※①～③全てを満たしている方

又は、クイック浜名が認めた場合

8時間耐久練習会の日程は9月14日・10月12日・11月9日の3回を予定しています。

定員 各20名

8月31日(日) 12時00分から受付開始です。

2) レース開催場所・日時とエントリー開始日及び受付場所

レース開催場所 ; クイック浜名 静岡県浜松市西区佐浜町 5757

レース開催日 ; 2014年11月23日(日) 8:00~20:00

エントリー開始日 ; 2014年8月31日(日) 12時00分から受付開始。

受付場所 ; クイック浜名、舞洲インフィニティサーキット、スポーツカート阪奈

3) 参加募集チーム数

15台 ※1チーム**4名以上**

4) 参加費(エントリー費)

1チーム 60,000円(1チーム4名~)

スポット保険 1000円(1人)

※保険はチーム人数分必要です

5) チーム名・チーム員について

- ① チーム名は10文字以内とする。顔文字等は認めない。
- ② チーム員は4名以上とし、**エントリー時には最低1名分のエントリー用紙を必要とする。**チーム員の増員は大会前日までは可能とする。

6) 雨天時の競技について

- ① 天候によりスケジュールやセッションが変更になる場合がある。
- ② 競技中で雨天もしくは路面コンディションがウエットの場合でもスリックタイヤで競技を続行する。
- ③ 雨具等は数に限りがあるので、原則貸出は行わないとする。

7) 参加申込み手順 (エントリー手順)

- ① 2014年8月31日(日) 12時00分よりエントリーを開始し、大会当日1週間前までにエントリーチーム数が10チーム未満の場合は大会中止とする。
- ② エントリー開始日は現金のみ対応する。振込みでのエントリーは翌日より可能とする。その場合、FAX又は郵送にてエントリー用紙を主催者に提出し、振り込む前に主催者に必ず確認を取ること。

●郵便局からお振込みの場合● カ) アイエスケー 【記号】 【番号】 12320 16023061	●他金融機関からお振込みの場合● カ) アイエスケー ゆうちょ銀行 【店名】二三八 【店番】238 【口座】 普 1602306
★お振込みされる場合は、必ずお名前の後ろにイベント開催日を入れて下さい。 例：ハマナタロウ 1123	

- ③ エントリー開始時において主催者が募集するチーム数を超えた場合は抽選となる。
- ④ エントリー出来なかったチームはキャンセル待ちとして登録出来る。その場合、名前と連絡先のみでの登録で、参加費やエントリー用紙等は必要としない。
- ⑤ エントリーする際は必ず最低1名分の「エントリー用紙」と「参加費用全額もしくは10%」を必要とする。
- ⑥ 参加費(エントリー費)は、レース開催日の1週間前(11月16日)までに全額お支払ください。
- ⑥ エントリーする際と大会当日は必ず会員証を持参すること。

8) 参加申込みキャンセルについて

エントリーをキャンセルする場合はキャンセル料金が発生する。

エントリーをキャンセルする場合は、受付完了時に渡される「受理書(領収書)」と「キャンセル申請書」を主催者に提出すること。

※「受理書」と「キャンセル申請書」を受け取った日をキャンセル日とする。

※電話のみでのキャンセルはトラブルを避ける為、受け付けない。

※返金はキャンセル料金の差額を店頭にて返金する。

※振込みでの返金を希望される場合は更に振込手数料を差し引いた金額を返金する。

※キャンセルの場合は、保険代は返金出来ませんので御了承ください

●キャンセル料金●	
※保険代は返金出来ません。	
大会当日の15日前まで	10%
大会当日8日前まで	50%
大会当日前日まで	90%
大会当日	100%

9) 参加にあたって

- ① レーシンググローブ・レーシングシューズ・レーシングスーツ・フルフェイスヘルメットが望ましい(原則)が皮膚の露出が少なく運転に支障をきたさない服装(バイザーのあるヘルメット、皮膚の露出がなく操作に支障をきたさない長袖、長ズボン、手袋、運動靴)であればレースに参加できる。
※半袖・半ズボン・サンダルでは参加出来ない。
- ② ヘルメット・グローブはレンタルに限りがありますので、各自で用意すること。用意出来ない場合はエントリー時に申込が必要。先着順となる。
- ③ 雨天の場合はレインコートが必要となる為、各自で用意すること。レインコートのレンタルはありせん。
- ④ サインボード・ストップウォッチのレンタルはありませんので、各自ご用意下さい。サインボードはチームドライバーにピットインを知らせることで便利です。ストップウォッチは連続走行時間及びピット時間を確認することで便利です。
- ⑤ 走行時は必ずヘルメットのあごひもを締め、服装も止められる箇所は全てきちんと止めるようにして下さい。

10) 競技中について

- ① レース中にスピン、コースアウトした場合オフィシャルは手を貸せません。自力でコース復帰できない場合にはリタイヤもしくは車両回収の対象となります。
- ② 但し、女性及び中学生以下の参加者に関してはオフィシャルの手を借りてカートをコースまで戻すことができます。
- ③ カートから降りる場合は必ずエンジンを止めること。
- ④ セッション中の事故、又はアクシデントにより次のセッションでの走行に支障をきたすと判断した場合、そのセッションのリタイヤを命じる場合があります。
- ⑤ レースの運営を回収・修理の作業より優先して行います。修理・回収作業に対する抗議は一切受け付けません。
- ⑥ 走行中、アクシデント等により車両にトラブルが出た場合は頭上に手で「×」印をして合図を行い、オフィシャルを呼んで下さい。オフィシャルが到着後車両点検を行い走行不可と判断した場合は**オフィシャルと一緒にピットまで戻って来て下さい**。ドライバー判断でのコース横断は一切認めません。
- ⑦ **競技中、ドライバーとの無線及び携帯電話での通話は禁止とさせていただきます。**

11) 車両選択及び決勝グリッド決定について

乗車車両については、全てクジにて決定する。

フリー走行(30分)で、フリー走行終了60秒前から日章旗をスタートにタイム計測を開始する。
日章旗からチェッカーフラッグを受ける間(60秒)のベストタイムで決勝グリッドを決定する。

- ① ゲートオープン時にクラブハウスに入ることが出来、速やかに「誓約書」を記入し、会員証を提示すること。
- ② 各チームで最初に乗車誓約書を記入したドライバーを代表者とみなし、乗車車両番号クジを引く。
- ③ クジの結果はドライバーズミーティング時に発表する。
- ④ 決勝レースに乗車する車両がフリー走行にて故障し、修理不可能で乗車出来ない場合は予備車両より選択する。但し、エンジンのタレ等では交換しないこととする。
車両の変更は全て主催者により決定することとする。主催者側より連絡がなければ、クジにて決定した車両で競技を続行とする。

■イベントスケジュール

1) 競技内容は以下の通りとする。

	競技内容	時間 (分)	スタート時ガソリン量
1	フリー走行&予選TT	30分	※予選TTは残り1分間
2	決勝レース	480分	4Lスタート 給油は2L/回

※尚、各セッションの競技時間に関してはエントリー状況や天候などの諸状況を加味し、大会本部の決定により変更する事がある。変更があった場合は当日ドライバーズミーティング時に通達するものとする。

2) タイムスケジュール

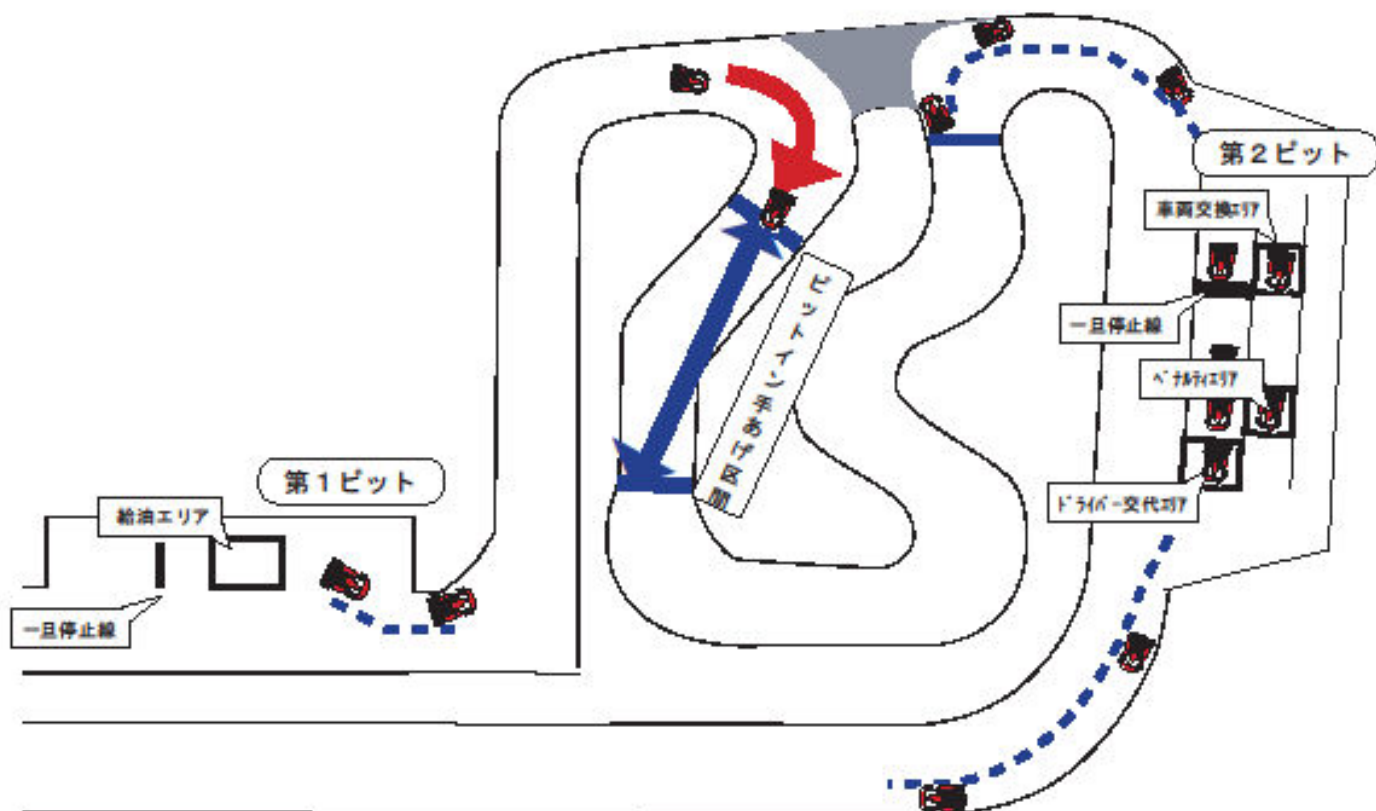
①	ゲートオープン及び受付開始 ※ゲートオープンまでクラブハウスに入れません。	7:45~	受付時に必ず会員証を提示して下さい。
②	ドライバーズミーティング	8:30~	ピット前で行います。但し、天候等により場所を変更する場合があります。
③	フリー走行	9:00~	ドライバーズミーティング終了後、第1ドライバーは速やかに準備をして、車両に乗車して下さい。
④	決勝レース	10:00~	第1ドライバーは開始時間10分前までに準備をして、乗車して下さい。
⑤	表彰式	18:30~	

※天候やトラブル等でスケジュールが変更になる場合があります。予めご了承下さい。

※出来るだけスケジュール通りに進行していきますが、スケジュールより早く進行できる場合は早めに行っていきます。ご協力の程よろしく申し上げます。

※進行を妨げるような悪質な行為をされる方には、途中退場を命じる場合があります。

耐久レース・ドライバー交代方法



●交代方法●

- ① 8コーナーから9コーナーまでにピットイン合図をする。
- ② ピットイン入口よりピットロードを徐行し、第2ピットにピットインする。
※ピットロード入口に進入する際は、必ず安全を確認して行うこと。
※ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。
- ③ 一旦停止線で車を一旦停止させ、ドライバー交代エリアに車を徐行で進める。
※ピット内ではタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。
※他の車両が一旦停止している際は、その後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し前に結んでいく。
※ピット内で他の車両に衝突した際は、後方の車両にペナルティを課す。
- ④ ドライバー交代はドライバー交代エリアに進入してきた車両のみ行うことができる。
※ドライバー交代エリアで他の車両がドライバー交代している際は、一旦停止線より車両を進めて交代中の車両の後ろにつき並んで待つ。
- ⑤ ドライバー交代エリアで停止したドライバーは、確実に車両が停止したことを確認した後、**エンジンを始動したまま降車する**。
※車両停止前に降車する行為は、ペナルティの対象となる。
- ⑥ チームの腕章を腕から取り、タイムチェックオフィシャルの前のトレーに置き、「OO番交代です」とタイムチェックオフィシャルの伝えること。
※次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つこと。
- ⑦ タイムチェックオフィシャルがチェック次第、次のドライバーがトレーから腕章を取る。
- ⑧ 腕章を受け取った次のドライバーは、**降車前に腕章を肘より上に付けたままピットアウトする**。
※ドライバー交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横で準備ができていない場合は交代遅延行為でペナルティの対象となる。

●ペナルティを受けた場合●

- ① ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグと車両番号を提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。
- ② 情報係よりペナルティの説明を受ける。
- ③ 説明が終了した後、情報係の指示に従いドライバー交代エリアに車を進める。ドライバー交代エリアで一旦停止を行いピットアウトする。
※ドライバー交代エリアでは一旦停止のみでよい。ドライバー交代はできない。
※ペナルティの場合は、オフィシャルが「ペナルティエリア」に誘導する。
※ベースカー中は全てのペナルティを課さない。レーススピード中に課す。

●給油方法●

- 給油場は一般営業用第1ピットで行う。
- 決勝レース中、希望するチームは給油をすることが可能。
- 給油可能時間帯はレース開始50分経過からレース終了30分前までとする。
- 給油は1台毎に行い、他チームが給油の場合はそのチームが給油を終えるまで給油をすることが出来ない。その場合、給油中の車両の後ろで並んでおくこと。
- 給油場に停止した車両は速やかにエンジンを停止し、ドライバーは必ず降車すること。降車してから給油をスタートする。
- 降車したドライバーはドライバー待機エリアに居ること。
- 給油時間は90秒以上かかるとはいけなく、車両が停止しエンジンを停止してからタイム計測とする。（オフィシャルが計測）
- 給油用ピット・ドライバー交代用ピットは場所が違う為、給油後ドライバー交代をするチームは一度コースを走行し改めてドライバー交代用ピットに入ること。
- ※給油量は1、2リットルとする。しかし、車両のタンク内には25リットルを上限とし、それ以上の給油は行えない。
- ※給油中は安全確保のためエンジンを停止する。
- ※給油ピットからコース上に戻る場合はコース上の車を優先しコース上の車の走行を妨害した場合はペナルティの対象となる。

■使用ピットについて ドライバー交代・ペナルティ用ピット、給油ピットについて

- ① ピットはコース西側第2ピットを使用する。
- ② ピット内は徐行とし、いつでもすぐに停止できる速度で走行すること。
- ③ **ピットイン出来る条件**
 - a, ドライバー交代の場合
 - b, ペナルティを受けた場合
 - c, 車両トラブルの場合
 - d, 競技終了の場合
 - e, 体調不良の場合
 - f, 背あてのマットがずれた場合以上の場合のみピットイン出来る。上記以外の理由は認めない。
- ④ ピット内は一旦停止線とドライバー交代エリアの2箇所停止する場所があり、必ず停止しなければならない。
※停止する際にタイヤをロックさせての停止、又はピット内でのスピン・接触はペナルティの対象となる。
- ⑤ 参加選手並びに参加申込時に届出のあったピットクルー（2名まで）以外はピットへの立ち入りは出来ない。
- ⑥ **ピットイン・ピットアウト時は必ず片手(右手)を上げてコース走行車に合図すること。**
※給油は一般営業用の「第1ピット」を使用します。

2) ピットインについて

- ① ピットイン時は必ず白点線内を走行する。
※タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。
- ② ピットインは必ずピットインラインに沿って走行すること
※ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。
- ③ ピットインは13コーナー入口からアウト側ピットレーンを通して第2ピットへ進入する。
- ④ 「**ピットイン合図区間**」にて、**必ずピットイン合図の右手を挙げる。**
ピットイン合図を行った車両は必ずピットに入ること。
※キャンセルした場合はペナルティの対象となる。
※使用コースによって変更がある。

3) ピットアウトについて

- ① ピットアウト時は白点線内を通り、白点線が切れてからコースに合流する。
- ② ピットアウトは必ずピットアウトラインに沿って走行すること。
※ピットアウトラインをタイヤが越えた場合はペナルティ対象となる。
- ③ 「**ピットアウト合図区間**」にて**必ず右手を挙げピットアウトの合図すること。**

4) ドライバー交代方法について

- ① 8コーナーから9コーナーまでにピットインの合図をする。
- ② ピットイン入口よりピットロードを徐行し、第2ピットにピットインする。
※ピットロード入口に進入する際は必ず安全を確認して行うこと。
※ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。
※ピットロード外側のバリアにタイヤが接触した場合はペナルティの対象となる。
- ③ 一旦停止線でカートを一旦停止させドライバー交代エリアに車両を徐行で進める。
※ピット内はタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。
※他の車両が一旦停止している際はその後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し、前に詰めていく。
※ピット内で他の車両に衝突した際は後方の車両にペナルティを課す。
- ④ ドライバー交代はドライバー交代エリアに進入出来た車両のみ行うことが出来る。
※他の車両が交代している際は、一旦停止線より車両を進めて交代中の車両の後ろにつき並ぶ。
- ⑤ ドライバー交代エリアで停止したドライバーは確実に停止したことを確認した後エンジンを始動したままカートから降りる。
※車両停止前に降車する行為は、ペナルティの対象となる。
- ⑥ チームの腕章を腕から取りタイムチェックオフィシャルの前のトレーに置き「〇〇番交代です」とタイムチェックオフィシャルに伝えること。


※次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つておくこと。

- ⑦ オフィシャルがチェック次第、次のドライバーがトレーから腕章を取る。
- ⑧ 腕章を受け取った次のドライバーは乗車前に腕章を肘より上に付け乗車し、ピットアウトする。
※交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に準備が出来た状態でいない場合は、交代遅延行為としてペナルティの対象となる。
※カート乗車中には腕章に触らないこと、腕章の脱着はカートに触れていない状態で行うこと。

5) ペナルティを受けた場合

- ① ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグとカートNo.を提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。
- ② エンジンは停止しない。
- ③ 情報係よりペナルティの説明をする。
- ④ 説明が終了した後、情報係の指示に従いドライバー交代エリアにカートを進める。ドライバー交代エリアにて一旦停止を行いピットアウトする。
※ドライバー交代エリアでは一旦停止のみとする。ドライバー交代は出来ない。
※ペナルティの場合は、オフィシャルにより「ペナルティエリア」に誘導する。
※全てのペナルティはペースカー中には課さない。レーススピード中に課す。

■レースで使用されるフラッグ（旗）

	<p>●チェッカーフラッグ● 競技終了。 チェッカーフラッグ後は追い越し禁止。クールダウン走行をし、ピットにもどる。 チェッカー後のスピンやコースアウトはペナルティの対象とする。</p>
	<p>●日本国旗● 競技スタート。決勝スタートはタイム表示板を使用する予定。</p>
	<p>●グリーンフラッグ（緑旗）● 競技再スタート。競技再開。 グリーンフラッグが提示され、コントロールライン通過後追い越し可能。 ※ペースカーが解除される場合によく使用される。</p>
	<p>●イエローフラッグ（黄旗）● 追越禁止。危険箇所を注意し回避せよ。 黄旗解除線までは追い越しを禁止し危険箇所を安全に通過すること。 黄旗解除は黄旗解除線で黄旗が提示されていない場合とする。</p>
	<p>●レッドフラッグ（赤旗）● レース中断。 安全にピットにもどれ。場合によってはスタッフの誘導でコース上で停止させる場合がある。</p>
	<p>●ブラックフラッグ（黒旗）● ピットに入れ。 カートNo.も同時に提示する。 ペナルティの対象となった車両に振られるが、車両異常とオフィシャルが判断した場合、点検の為に振られる場合がある。</p>

※ドライバーは必ず走行中オフィシャルより提示されるフラッグを見る義務があり、理解して行動出来ると判断する。提示されているのに、理解出来なかった場合、見ていなかった場合はフラッグ無視と

判断する。場合によっては競技を棄権するように命じる。

■ペースカーについて

1) ペースカー導入について

「レース中」・「フリー走行中」・「予選中」必要に応じてペースカーが入りレーススピードをコントロールする場合がある。

その場合**全コースで追い越し禁止**となり、ペースカーに追いついていなくても全車スローダウンしなくてはならない。

尚、ペースカー導入中はコントロールラインでP. Cのサインボードを提示するので、提示があった場合、全車コントロールライン通過後は追い越し禁止となる。

※ペースカー導入時は順位に関係なくランダムに入る。

※ペースカー導入中もドライバー交代可能である。

※コース上の危険度により赤旗中断する場合がある。その場合、速やかに全車ピットインすること。

※レース中断後、状況によってはレースを中止することがある。その際、レース時間の3分の2以上経過している場合はその時点での結果を最終結果とする。**3分の2未満の場合は中止という結果とする。その場合、参加費等の返金は一切行わない。**

2) ペースカー（全コース追い越し禁止）解除について

① コース上がクリアになった時点でペースカーがピットインする。

② ペースカーがピットインした後もコントロールラインでグリーンフラッグが提示されるまでは**追い越しを禁止する。※コントロールラインまでは追い越しは禁止。**

3) ペースカー中のドライバー交代について

① ペースカー中、ドライバー交代は可能である。

② **ドライバー交代時にタイムチェックオフィシャルへ腕輪を渡す際、ペースカーが13コーナーからコントロールラインまでの区間を走行している場合、次のドライバーは腕輪を取れない。コントロールラインをペースカーが通過後、タイムチェックオフィシャルより腕輪を受取りスタートする。**

※タイムチェックオフィシャルより腕輪を受け取ったドライバーはスタートできることとする。

※ドライバー交代エリアで腕輪をオフィシャルに渡した時間がドライバー交代時間とする。

※但し、ドライバー交代エリアの後方で交代を待っているチームは待っている時間も連続走行時間に含まれる。

■フリー兼予選タイムアタック走行について

1) 走行時間

30分間

※フリー走行中は給油出来ない。

2) フリー走行中のドライバー交代について

連続走行時間の適用はないが、必ず最低3名のドライバーが1度は走行すること。

※フリー走行では練習の場として基本的にペナルティは取らないが、競技長の判断により過度の場合ペナルティを取る。場合によっては失格とする。

※29分間は全チーム交代等の練習に励むこと。フリー走行の途中終了は出来ないこととする。

3) 予選タイムアタックはフリー走行開始29分経過した時点から1分間タイム計測を行う。

決勝スタートグリッドはそのタイムで決定する。

■決勝レーススターティンググリッドについて

フリー走行兼予選TTの走行で決定する。

■決勝レースについて

1) 競技内容

8時間耐久レース（480分）

2) 順位の決定について

走行周回数とその周回を終了したタイムによって決定する。

3) 使用カートについて

ドライバーズミーティング後に発表した車両を使用する。

決勝スタート前に決定していた車両にてスタート出来ない場合は、オフィシャルの判断により予備車両に乗車してスタートする。参加者の判断での車両交換は認めない。

※予備車両でスタートした場合でも、競技中に修理が完了した場合はドライバー交代時に元々決定していた車両に次のドライバー交代時に乗り換えることとする。

4) スタート方法

ル・マン式スタート方法

フリー走行兼予選でペナルティを受けたチームは決勝レースのスタートではピットスタートとなる。

1回につきレーススタートしてから先頭車両がコントロールラインを通過後、10秒経過後にピットよりスタートする。

5) 連続走行時間と交代回数について

1人のドライバーが連続して運転する時間に規定はないが、60分毎に1チーム**最低4回の交代**をしなければならない。

※但し、ドライバー交代可能時間は競技スタート5分経過後～競技終了10分前までとする。

※最後のドライバーは最低10分は走行しなければいけない。

6) 給油について

- ・給油場は第1ピットで行う。
- ・決勝レース中、希望するチームは給油をすることが出来る。
- ・**給油可能時間帯はレーススタート1時間経過～レース終了30分前までとする。**
- ・給油は1台毎に行い、他チームが給油の場合はそのチームが給油を終えるまで給油をすることが出来ない。その場合、給油中の車両の後ろで並んでおくこと。
- ・給油場に停止した車両は速やかにエンジンを停止し、ドライバーは必ず降車をすること。降車してから給油をスタートする。
- ・降車したドライバーはドライバー待機エリアにいること。
- ・給油時間は90秒以上かけなければいけない。
- ・車両が停止しエンジンを停止してからのタイム計測とする。(オフィシャルが計測)
- ・給油用ピットとドライバー交代用ピットは場所が違う為、給油後ドライバー交代をするチームは一度コースを走行し改めてドライバー交代用ピットに入ること。

※レースは4Lスタートとし、給油は1回につき2Lとする。

※給油中は安全確保のためエンジンを停止する。

※給油ピットからコース上に戻る場合はコース上のカートを優先しコース上のカートの走行を妨害した場合はペナルティの対象となる。

※ピットアウト時は白点線内を通り、白点線が切れてからコースに合流する。

※ピットアウトは必ずピットアウトラインに沿って走行すること。

※ピットアウトラインをタイヤが超えた場合はペナルティ対象となる。

※「ピットアウト合図区間」にて必ずピットアウト時は右手を挙げ合図する事。

8) ペナルティについて

ブラックフラッグにてペナルティを課された車両は全て「ピットストップエリア」に停止する。

※ピット内の一旦停止は全て遵守すること。

※ペナルティでピットインした場合は、ドライバー交代は行えない。

※ピットアウトする前のドライバー交代エリアで必ず一旦停止してからスタートすること。

その際、ドライバー交代エリアでは降車しなくてよい。

ペナルティ・・・・・・・・・・・・・・・・ピットストップペナルティ場所にてエンジン停止後、情報係りよりペナルティの説明を受ける。

ストップペナルティ・・・・・・・・ピットストップペナルティ場所にてエンジン停止後、ペナルティ時間をオフィシャルが計測する。

ラップペナルティ・・・・・・・・・・競技終了3分前経過後にペナルティがあった場合に課す。競技終了後ラップ減算（-1LAPもしくは-3LAP）

9) 失格について

- ① 大会規則、競技規則違反によってアドバンテージを得た場合
- ② **他の参加者の安全を省みず行った危険行為**
- ③ **オフィシャルの指示を故意に無視した場合**
- ④ LAPペナルティに当たる行為を繰り返した場合
- ⑤ ルールを遵守しようとせずマナーを守れない場合
- ⑥ **他の参加者を非難したり中傷した場合**

■ペナルティについて

以下の項目についてペナルティを課すが、記載項目以外でも主催者が危険な行為と判断した場合はペナルティを課す場合がある。

尚、フリー走行、予選走行中のペナルティは全て決勝レーススタート時にピットスタートとして課す。

ブロッキング・プッシング・走路妨害

- ①ブロッキング・・・・・・・・追いつそうとしている車両がいる時に、故意にラインを閉めて走行に影響をあたえた場合及び接触した場合。又はストレートでの大きなライン変更。
- ②プッシング・・・・・・・・後方より前車両に追突し、前車両に走行に影響を与えた場合または故意に接触したと判断した場合。（又は、相手がスピンしなくても押した結果で順位変動があったと判断した場合。）
※順位変動が無くとも取る場合がある。
- ③走路妨害・・・・・・・・故意的に蛇行走行をした場合。

コースショートカット

故意にコース外を横断した場合（オフィシャルが判断した場合）。
コースよりも更に内側（コース外）に入り、追い越した場合。

安全確認義務違反

スピン・コースアウト・ピットアウト等の後、コースに復帰（合流）をする際、危険な行為をした場合、又は、危険な行為とオフィシャルが判断した場合。

ピットイン・アウトライン違反

ピットイン・アウトラインを片側前後どちらかのタイヤがラインを越えコースに侵入した場合。
ラインを踏んだ状態は対象とならない。

ピットイン・アウト合図違反

ピットイン、もしくはピットアウトする際、コース走行車両に対し合図を行わなかった場合、
もしくは、オフィシャルが合図無しと判断した場合。分かりやすいように合図すること。
ピットイン合図を行ったが、ピットインしなかった場合。

ピットロード徐行違反

ピット内でのタイヤロック又はスピン・接触をした場合。又は、速度が速いと競技長が判断した
場合。
パイロン・タイヤバリア・コースバリアに接触した場合。

ピット内一旦停止違反

ピット内2ヶ所の停止場所にて停止しなかった場合。停止する際にタイヤロック又はスピン・
接触をした場合。

交代回数違反（ピットストップペナルティ 1回につき30秒）

60分毎に定めているドライバー交代回数が規定回数を満たしていない場合。
1回につき30秒ピットストップする。

交代遅延行為

ドライバー交代の際、交代エリアに車両が停止した時に次のドライバーがタイムチェックオフ
ィシャルの横に待機していない場合、又は乗車準備が出来ていない場合。

服装違反（※最低必要装備が非着用の場合はピットストップ120秒）

ヘルメットのしめ忘れや服装しめ忘れの場合。最低必要装備が非着用の場合とは、「■参加に
ついて」「9）」を参照。

フライング

スタート時にフライングした場合

黄旗（イエロー）違反

追越禁止区間において追い越しを行った場合。又はスピン・コースアウトした場合

フラッグ無視（ピットストップペナルティ 60秒）※競技終了3分前を経過してからは3LAP減算

オフィシャルが提示しているフラッグを無視した場合

Wチェッカー（ラップペナルティ 3Lap減算）

チェッカーフラッグを見逃し、チェッカーを2度受けた場合に課す。
最終結果より3周減算をし、同一周回がいた場合は同一周回の下位となる

徐行制限中のスピン（競技終了後は3Lap減算）

徐行制限中（追越禁止区間又はフォーメーションラップ時、チェッカー後）にスピン・コース
アウトをした場合

第2ピットバリア接触

コース側から第2ピットバリアに接触した場合

■車両交換について

車両交換は「車両交換エリア」からのスタートとする。

- ① 車両交換の決定は全て競技長が行うこととする。
- ② 車両交換エリアからスタートする際に、ドライバー交代エリアにてドライバー交代は可能とする。
- ③ **ドライバー交代を行わない場合であっても、必ずドライバー交代エリアで一旦停止しピットアウトすること。**
- ④ 車両状況が良くないと競技長が判断した場合、カート交換を命ずる場合がある。
- ⑤ 競技終了10分前を経過した時点からのカート交換は行わない。その時点で競技終了とする。

※レース中にアクシデント等で走行不能になった場合、基本的にペースカーが導入され車両をピットまで回収し、オフィシャルが修理を行うが、すぐに修理不能の場合はレース車両回収後、乗車していたドライバーが車両交換エリアにて予備カートに乗り換え、ピットからスタートする。

※予備カート走行中に修理が完了した場合、次のドライバー交代時に元の車両へ乗車する。

※交換車両の選択は出来ない。

予備車両のガソリン搭載量は2Lとする。

お願い

- 駐車場は混雑が予想されます。お車でご来店の方は、当日は出来るだけ乗り合いでお願いします。
- クイック浜名内駐車場の駐車場が満車になった場合、臨時駐車場に駐車して頂きます。
- クイック浜名周辺にはコンビニはありますが、食事が出来る施設が少ないので食べ物は事前に用意されることをお勧めします。

以上